

研究等助成事業

2 人材育成に関する助成事業

人材育成

社会が国際化、情報化等に伴い、国民のニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要です。これらに寄与するために、河川、道路、環境、防災、構造物維持管理、景観デザイン等をテーマとして、実践的な人材育成や教育の取り組みを九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象に募集し、大学等が複数又は地域と連携し実施する取り組み費用を助成する事業です。平成30年度は1大学、3法人・団体の事業に支援を行っています。

今回の人材育成助成は、大学が西日本高速道路(株)九州支社(NEXCO西日本)と連携して取り組む事業で、土木に関する講義、路線線形計画実習、のり面構造物点検実習及び対策方法の立案実習等の体験を通して、高速道路業務の理解促進、ならびに技術交流・情報交換を行うものです。また、今回の「道路工学実践教室」に参加した学生からは、「実際に現場に行き、意見を纏め、発表をすることで自分の知識面やキャリアアップにつながった」等の声が聞かれ、非常に貴重な体験であったことが報告されています。

“KABSE”学生研修会事業では、実社会で活躍する社会人から学生に対し、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について紹介。若手・中堅技術者・女性技術者の生の声を聴講・討議できたことは、学生にとって大変有意義な研修会であったことが報告されています。

九州デザインシャレットでは、将来まちづくりや建設分野に携わる様々な分野の学生・若手技術者を対象に、実際のまちづくりの課題に取り組む機会を提供し、専門家指導の下、異分野との共同作業を体験させ、現代の要請に適った人材を育成するものです。今日の本演習では「まち、人をつなぐ」をテーマに公共空間整備のデザイン提案を行ない、知識や技術の向上、景観デザインへ取り組む意識の向上につながったことが報告されています。

石橋技術者養成講座は、伝統技術で石橋や石垣等の石造文化財構造物を修復する技術者を育成するものです。石橋に関する基礎教育(座学)及び基礎技術の習得(実習)を行うことで、維持管理・構築が可能な技術者集団が徐々にできてきていることが報告されています。

平成30年度 研究等助成申請 人材育成決定者一覧表

番号	大学・法人名	研究課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 建設システム工学専攻	道路工学実践教室による道路エンジニアリング人材育成	H30.7.31～ H30.8.3
2	一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)	九州・山口地区の大学・高専の若手人材ネットワークの育成を目指した道路や橋梁等構造物の維持管理の現状や将来展望に関する実践的な研修会	H30.11.10
3	風景デザイン研究会/ 九州大学持続可能な社会のための 決断科学センター	九州デザインシャレット2018in長崎市	H30.5.18～ H30.9.30
4	一般社団法人 石橋伝統技術保存協会	石橋(石造アーチ橋)技術者養成講座	H30.6.1～ H30.12.20